

◆ 編集後記 ◆

今年度も紀要「福祉社会開発研究」（第15号）をお届けいたします。

東洋大学福祉社会開発研究センターは、2019年10月から第4期目を迎え、これまでの研究実績を踏まえながら、「つながりがある社会を支える価値と支援システムに関する研究」をテーマに社会的に孤立する人々へのICTを活用した持続可能な包括支援システムの構築に関する研究を文理融合体制で開始し、新ユニット間で研究方法・研究内容等の評価と課題を検証し合い、新たな研究課題を取り上げプロジェクトに取り組んできました。昨年度、第4期プロジェクトが終了し、今年度からは第5期目を迎えました。今後は「福祉社会における新たな価値の創発と支援システムの構築」というテーマのもと研究を進めていくこととなります。今までの研究基盤や実績を引き継ぎつつも、新しい研究分担者の先生方にもご参加いただき、すそ野を広げて研究を進めてまいります。

コロナ禍の影響はまだ続いており、調査を行うことが難しい事情がある一方で、各研究ユニット・グループ、精一杯研究に取り組んでまいりました。本紀要に収録されている論文もそうした研究成果の一環です。そして、例年どおり、こうして研究紀要をお届けすることができませんでした。

皆さまには是非ご一読いただき、忌憚のないご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、本研究センターの研究活動にご協力いただいた多くの方々に、心より感謝申し上げますと共に、今後とも、一層のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

なお、本誌はISSN(2189-910X)に登録しておりますことを申し添えます。

2023年3月

理論研究ユニット	稲沢 公一
実践研究ユニット	
—高齢グループ	古川 和稔
—障がいグループ	高山 直樹
—子どもグループ	内田 千春
—地域福祉グループ	加山 弾
—地域包括ケアグループ	藤林 慶子
開発研究ユニット	窪田 佳寛